

めざす姿

- 自分のことも周りの人のことも認めあえる
- 必要とする人に情報や支援が届く
- 地域の社会資源や活動の情報が共有されている
- 参加の入り口がたくさんあり、幅広い住民が活動に参加している
- 様々な人や団体が、それぞれの強みを生かして協力・連携し、つながりや活動が広がっている
- 地域の中に人や団体をつなげる人がいる

自分で・家族で【自助】

- ・自分に必要な情報を口コミや掲示板などの色々な方法で探してみる。
- ・地域の行事などに参加してみる。
- ・自分を知らってもらうことから関係づくりを始める。
- ・地域の活動等で、小さな役割に挑戦してみる。



仲間で・地域で【共助】

多様性について地域で考え、認めあえる地域をつくる

- ・まずは相手を知ることから始める。
- ・様々な人同士が、お互いを知り交流できる機会をつくる。



必要な情報が必要な人に届くように工夫する

- ・情報を受け取る人の状況を考え、その人に合わせた様々な発信を行う。
- ・地域の社会資源や活動の情報を集め、共有するとよい情報を見つけ、発信する。



活動の仲間を増やす

- ・参加の入口を広げる。

人や団体が協力し合い、コラボレーションしながら地域を盛り上げる

- ・様々な人や団体との交流の場をつくり、互いの強み弱みなどを共有する。できることでコラボレーションする。
- ・活動の範囲をほんの少し広げる。
- ・人と人、団体と団体をつなぐ役割をつくる。



今ある活動を大切に、守る

- ・続けていくことが大変な場合は、活動内容を見直すとともに、守るべき部分をきちんと話し合う。
- ・同じような活動をしている他の団体と協力したり、新しい仲間が増えるような工夫をする。

障害がある子どもを地域で育てる

家族に障害のある中学生の息子がおり、その子が一人で家にいる時に発災した時のことを考え、町内会で行っていた災害時要援護者カードを提出しました。すぐに町内会長さんが家を訪ねて来てくれ、話をしました。「何かあったらドアを破っても助けに来るよ」と言われ、地域の方が息子を気にかけてくれることが嬉しく、周りのみなさんが気にかけてくれることで、自分(親)がいなくなっても息子は地域で安心して暮らしていけるのではないかと思います。



外国人も安心して暮らせるまちに

外国につながるのある小学生・中学生の学習支援を実施。学習支援はもちろんですが、子ども達は集まっておしゃべりできることも楽しみにしている様子です。地域住民である学習支援のボランティアとつながることもでき、大切な場の一つとなっています。



メールを活用して会議を短縮化

これまでは定例の会議に委員が集まり、長時間の会議が行われていましたが、コロナ感染予防対策として、メールを活用して情報共有や意見交換をするようになりました。場に集まって会議ができるようになってからも、事前にメールで意見集約等を行い、会議の時間の短縮につながっています。



活動の広がりとお世代交流の場づくり

子ども連れで集まり、お茶を飲みながら話ができる場所が欲しいというママの声から子育てサロンが生まれました。介護予防・多世代交流の機会の場ともなるように地域の高齢者の方が担い手のボランティアとして関わっています。ママ同士の交流・つながりづくりはもちろん、地域の高齢者のボランティアに子育てのちょっとした相談ができる場もなっています。



コラム | column

「多様性」ってなに？

第4期スイッチON磯子を検討する分科会では「多様性ってどう表現すればいいの?」ということが議論になりました。いったん「年齢や性別、国籍や出身に関わらず」という説明にしてみたところ、「そのような種別で説明することが違和感」「あいさつ一つとっても勇気がある人もそうでない人もいて、それが多様性」「どこが違うかではなく、自分以外の人を理解しようとする姿勢が大切」などの色々な意見が出ました。

説明がないと多様性のイメージがわかりませんが、説明しすぎるとレッテルを貼って決めつけてしまうことになってしまうというジレンマです。文字だけではこのニュアンスをうまく表現できないのですが、とても大切な議論だったと思います。

つまり、磯子区に暮らす全ての人を対象であり、お互いに認めあっていきたいと思いますということなのです。みなさんもぜひそれぞれの団体で「多様性」について話し合ってみてください。



自助・共助の取組事例

オンラインを利用した 若者と高齢者のつながりづくり

コミュニケーションツールとしてオンラインが活用されるにつれて、学生や若いママさんたちに企画をしてもらい、高齢者向けのスマホ講座をやってもらいました。一回では分からない参加者に対して、「何度でも聞いていいですよ」と優しく声をかけながら教えている様子が見られ、つながりづくりにもなりました。

企業の持っている強みを地域に生かす

計画の策定にあたり行ったグループインタビューで「買い物にお困りの方」についてご意見を頂いたことをきっかけに、地域にアンケート調査を行い、移動販売を希望する自治会の会長、関係機関とで検討を開始しました。その後、検討の場を地区社協に移し、住民主体の組織として正式に発足しました。

関係機関、協力企業を交えて検討を進め、区内5か所にて移動販売を開始し、移動販売の安定継続と買い物にお困りの方への支援について定期的に話し合いを行っています。



食料の寄付が 生活に困っている人を支える

個人による食べきれない食べ物の寄付や、企業の自社製品による寄付などを通じて、子ども食堂での活用や、生活に困っている人にお渡しする取組が広がっています。

新型コロナウイルスの影響で職を失うなどの生活が困窮している状況が明るみになり、ますます食支援の必要性が高まりました。そこで、企業に地域の窮状を伝えたとこ、個別の家庭にお渡しできるような食料の寄付をいただくことができました。個人の寄付についてもSNSを活用し募ることで、普段より多くの寄付が集まりました。

地域で配分会を開催し、集まった寄付をお渡しする活動も広がっています。広報についてもSNSを活用することで、これまで関わりの少なかった若いひとり親家庭なども支援につながるようになりました。



コラム | column

地域で安心・楽しく子育て（子育て支援連絡会）

核家族や少子高齢化が進むことにより、周囲に育児をサポートしてくれる人がいないという声が聞かれます。磯子区では、子育て中のパパやママが安心して楽しく子育てができるために区、子育て支援拠点（いそピヨ）、地域ケアプラザ、主任児童委員、幼稚園、保育園、その他多くの団体が地域で様々な子育てを応援する活動をしています。そして、子育て支援の現状や課題などを共有し活動の連携を目指すために、関係機関が集まり「子育て支援連絡会」を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が求められる状況下でも、区内の子育て支援に関わる機関は、様々な工夫をしできることを模索しながら、地域とつながりや交流のある活動をしています。今後も子育てに関する情報を共有し、各活動に生かせる連絡会を開催していきます。



区役所・区社協・地域ケアプラザで【公助】

共通

..... 区役所、区社協、地域ケアプラザが共通で取り組むこと。

多様性を認めあう風土づくり

区役所

- ・多様性を認めあうための広報、キャンペーン活動などの普及啓発活動、研修、講演会などを通して、相互理解を進めます。
- ・区内障害者施設の自主製品の紹介(コラムP.28)などにより、障害のある方の様々な活動を区民へ周知していきます。
- ・地域子育て支援拠点と連携し、外国にルーツのある方の子育ての支援など、地域とつながりがもてるよう支援していきます。

区社協

- ・講演会や広報紙などを通して、多様な立場の人への理解が深まる啓発を行います。
- ・学校や企業、地域に向けて普及啓発のための講座や福祉教育を行います。

共通

- ・世代の違いや障害の有無等に関わらず、多様な人たちが交流できるきっかけづくりを支援します。
- ・学校や企業、自治会町内会等の地域に向けて、普及啓発のための講座や福祉教育を行います。

取組内容・事業例

★理解啓発の取組



スーパーの接客職員に対し、認知症サポーター養成講座を行いました。



学校の依頼に基づき様々な種類の福祉教育を行っています。

【福祉教育(区社協・地域ケアプラザ)】

様々な方法でのコミュニケーションの推進

区役所

- ・新たな方法でつながっていけるよう、インターネット等の活用ができる環境づくりを支援します。
- ・地域関係団体や委嘱委員(民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、環境事業推進委員、消費生活推進員)等を通じた周知や窓口相談等の機会をとらえて、必要な人に情報を届けます。

区社協

- ・地域ケアプラザ等と連携し、地域に出向いて制度等の情報を届けます。
- ・コミュニケーションボード等のツールの普及を進め、障害等に関わらず理解しあえる関係づくりを支援します。
- ・地域の方が、スマホやオンライン会議システム等に取り組みやすくするため、ノウハウを持つ企業やボランティアと地域ケアプラザ等をつなぎ、講座の実施や調整を行います。
- ・当事者や施設の分野ごとのネットワークを生かし、様々な団体に情報が届くよう工夫します。

地域ケアプラザ

- ・自治会町内会等に出向き、地域に身近な情報の提供や普及啓発を行います。
- ・地域向けの講座などを通して、年代等に関わらずインターネットが使える人を増やす支援を行います。

- ・多様な人に届くように、広報紙等の紙媒体によるわかりやすい情報提供、特に子育て支援情報についてはホームページやSNSを活用したタイムリーな方法で地域に向けた情報発信を行います。
- ・多言語に対応した情報発信やコミュニケーションツールの導入などを行います。
- ・オンラインシステム等を活用し、様々なコミュニケーションを推進していきます。

取組内容・事業例

★コミュニケーションの取り方の工夫



新たにオンラインツールを使つての会議に挑戦。

【区社協】



企業と連携し、空き家を活用してできた地域の活動拠点。スマホ講座を開催しました。

【区社協・地域ケアプラザ】

活動団体の応援

- ・活動団体への情報提供や団体運営に役立つ講習会やスキルアップのための研修などを実施し、運営を支援します。
- ・委嘱委員がそれぞれの役割を発揮できるよう、活動団体への情報提供や研修などを実施します。
- ・補助金や様々な助成金の交付などにより、地域の活動団体を支援します。
- ・子育て支援連絡会を開催する等、各種団体が協力しながら子育てしやすい地域になるよう支援します。

- ・活動団体への資金面での助成による、活動のサポートを行います。助成金申請団体など様々なところから得た活動団体の情報を各機関と共有します。
- ・区域で活動団体のテーマごとの研修や団体同士の情報交換等を行うことで、地域での活動が活発になるように支援します。

- ・自治会町内会やご近所同士等の身近な地域活動を支援します。
- ・身近な地域の中で、研修の機会、ボランティア団体同士の交流、活動の場の提供や情報交換の場をつくることで、活動の支援を行います。

取組内容・事業例

★様々な方面での活動の支援



地域の中で活動しているボランティアが集まり、話し合いができる場を設けています。

【ボランティア交流会(地域ケアプラザ)】



みなさまからの寄付金をふれあい助成金として毎年約90団体に配分しています。

【ふれあい助成金(区社協)】

新たな活動につながるネットワークをつくる

区役所

- ・地域の住民や各種団体、企業の関係者など様々な人々が連携し、区社協、地域ケアプラザと共に、高齢者の社会参加や生活支援の仕組みをつくっていきます。
- ・地域課題に応じ企業と活動団体をつなげるなど、課題の共有や新たな活動が創出できるよう支援します。

区社協

- ・こども食堂連絡会と企業との連携等、区域や市域のネットワークを生かし、広域で活動する企業等と地域活動が結びつくような調整を行います。

共通

- ・異なる活動をしている団体同士や場所や物、情報など地域資源と団体をつなげることで、活動を支援します。
- ・活動や買い物等の生活支援に関わる企業や商店とともに、地域の暮らしを支える仕組みづくりを行います。

取組内容・事業例

★企業と地域をつなぐ



区内にできたスーパーが、交通機関の不便な場所にお買い物バスを運行。買い物だけでなく、様々な用途に無料で使えます。

【地元企業との連携(区役所・地域ケアプラザ)】



買い物の不便な場所に地域のコンビニが出張販売を実施。交通整理や声をかけあう等地域の支えあいの仕組みづくりにもなっています。

【買い物支援(区役所・区社協・地域ケアプラザ)】

地域での仲間づくり支援

区役所

- ・地域活動のノウハウを学ぶ地域づくり塾や新たに活動を始めるための地域デビュー講座などを実施し、様々な活動につなげていきます。
- ・両親教室や赤ちゃん教室など様々な事業を通して、仲間づくりにつながるよう支援していきます。

区社協

- ・企業や働く世代など、地域とのつながりが持たにくい人を地域活動につなげます。

地域ケアプラザ

- ・ちょっとしたお手伝いやイベントの補助など、参加しやすい活動を紹介し、できることを生かし社会参加の場を提供します。

共通

- ・趣味活動、やりたいことや得意なことを通して仲間づくりの機会をつくります。
- ・地域での活動を希望する方の相談を受け、情報提供や活動先の紹介を行います。

取組内容・事業例

★地域の課題解決や魅力づくりの手法を学ぶ講座



経験や特技などを生かし、居場所づくりなど地域での様々な活動を行うための手法を学ぶ講座です。区内のNPO法人と連携して開催しています。

【地域づくり塾(区役所・区社協・地域ケアプラザ)】



地域ケアプラザではいそご地域づくり塾の卒業生の活躍の場を支援しています。

1

2

3

4

第4期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」

基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ共通の取組事例

今ある取組、感じている思いや課題に注目して工夫することで、いろいろな人にとってプラスになります。基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを踏まえた地域のなかで考えられる具体的な取組例を紹介します。

エピソード① 防災訓練にて

1 防災訓練の準備のための話し合いで…



2 障害のあるご本人やご家族に聞いてみました



3 訓練当日、表示を工夫してみました



4 訓練での出会いをきっかけに、地域のつながりが広がりました



障害のことをきっかけに、多様な人が参加できる防災訓練が実現したんだ。そして、日常の関係にも広がっていったよ。



エピソード② 体操教室にて

1 高齢者の体操教室



2 A先生と話してみました



3 みんなで考えてみました



4 体操教室をみんなで続けられることになりました



こんなときに、活動をあきらめてしまう人もいるかもしれないね。Aさんの生きがいを守れたことに加えて、色々な人を暖かく受け入れる地域になっていくんだな…



地域で安心・楽しく子育て [あつまる・あそぶ・つながる]

ママやパパだけで子育てしなくても大丈夫です。地域にでると、つながる場所がいっぱいあります。安心して楽しく子育てする地域を目指しています。

子育て支援相談@地域会場

先輩ママが子育ての相談にのってくれます。相談がなくても、おしゃべりしたり、あそべます。



子育てサークル

子育て中のママたちの自主的なグループです。

あかちゃん教室@地域会場

初めて育児をするパパママと0歳のお子さんの集まりです。



園庭開放・育児相談@保育園

保育園が定期的に開放され、子どもたちや保育士さんとあそべます。また、育児相談も受けています。

こんにちは赤ちゃん訪問

地域で様々な活動をしている訪問員が、赤ちゃんのいる家庭を訪問します。



親と子のつどいの広場@民間施設

子育て中の親子が気軽につどい、交流する場所です。色々なイベントやプログラムも開催しています。

両親教室@区役所

妊娠中の方を対象にした教室です。



サロン・広場・教室@地域会場

地域の身近な会場で、自由に交流できたり、子育てに関する情報がもらえたりします。

プレイパーク・ログハウス・公園など、外遊びできる場所もたくさんあります。



●磯子区地域子育て支援拠点について、詳しくは→P.62

そのほか、地域の自治会町内会や団体・グループ、地域ケアプラザ、地区センターなどでも参加できる様々なプログラムや事業があります。住んでいる地区の行事に参加することで、地域の人達と知り合っ一緒に子育てしましょう。

●磯子区の情報



磯子区子育て支援マップ



いそピヨ



↑いそピヨインスタグラム

●市内全域(磯子区以外)の情報



親子の居場所



ヨコハマダディ



↑ハマハグ